

開設四十周年を迎えて

ホロニクスグループ
代表 谷 幸治
2019年12月17日

「移り行く時代と環境の中で、病院事業はどうあるべきか?」、そればかりを考え続けた40年でした。昭和54年12月17日に51床の谷病院を開院、ある程度の規模を持つ開設者としては最後の旅立ちです。54年以降、制度上、それまでの南風は凧に入りました。現在、62施設、総ベッド数3,158床、従業員数5,355人という規模まで事業規模を拡大、然りながら、十数年前から風は北風です。そして今や烈風吹きすさむ強い北風の中を駆け抜けねばなりません。もはや、旧来の手法は通用しません。

我々医療界を取り巻く環境は悪化の一途を辿っています。高齢化に伴う医療介護費用の増大を始め、今や国家財政は破綻前夜です。医療界の未来を予測すると、未来20年は寡占化の時代です。縮小均衡下での未来事業モデルを完成させた施設が勝ち組となります。歴史の針を元に戻すことはできません。個人も組織も、一段のバージョンアップが必要です。

私は医療を中核とする事業複合体(医療事業生態系)の完成を急いでいます。「患者中心主義」と「四者満足(患者満足・職員満足・病院満足・社会満足)」の実現を目指しています。サブ機能・複合機能を充実強化することでコア機能が輝き、コア機能が輝くことでサブ機能・複合機能が生きてくるという関係性を構築し、医療技術商業化分野を育成強化することで健康意識の向上、健康長寿社会の実現を目指しています。

「一人で見るとはただの夢、二人で見るとは現実、多くの方が夢を共有した時にそれは現実となる」、時間と空間の現象世界で夢を形にする為には、職員の皆さん方、ステークホルダーの皆さん方、そしていつも応援して頂いている多くの方々と夢を共有して新しいステージへと向かわねばなりません。

未来を先取りした病院改革を完成に近づけたホロニクスグループにとって、未来は、更なる飛躍の機会になることを期待しています。